



北海道出身指導者の活躍



尾形 行亮(おがた ぎょうすけ)さん

2023年9月16日～17日ポーランドで開催された国際親善大会「AMP FUTBOL CUP 2023」に日本代表チームの監督として参加。コメントが届きました！

アンプティサッカーとは？

アンプティサッカー (amputee soccer = 切断者サッカー) とは、主に上肢又は下肢の切断障がいを持った人々により行われるサッカーです。障がい者スポーツに必要なとされた専用器具を必要とせず、日常の生活やリハビリ医療目的で使用しているクラッチ(主にロフストランドクラッチ)で競技を行うため、足に障がいを持つ人々にとって最も気楽に楽しめるスポーツとなっています。国内では、全国各地に11のクラブチーム約100名の選手たちが活動しています。

国際大会での感想

国の代表として八咫鳥のエンブレムをつける誇りや責任感を感じて戦ってきました。2日間という短い大会日程でしたが、大型でアスリート能力の高い選手の層が厚い、優勝したポーランドやサッカー理解が高いイングランド、球際での強さがあるコスタリカなど、それぞれに特徴がある4か国と対戦できたことは、非常に良い経験となりました。1日2試合かつ試合間隔も短いタイトなスケジュールの中、選手たちはインテンシティの高いゲームを見せてくれました。試合は、事前合宿で取り組んできたビルドアップや決定機の創出、組織だった積極的な守備という部分で勝っている時間帯も多かっただけに、悔しさが残る結果となりました。また、プレーイングタイムを確保しつつ、流れを変える選手交代やタイムアウトを取るというタイミングが難しく、スタッフとして今後に向けた課題の一つとなりました。一瞬の隙や試合展開に応じた戦い方が勝敗を左右してしまうことを国際試合で経験できたことは、選手・チームにとって大きな財産となりました。



今後の意気込み

今後3年で世界トップ5、次回ワールドカップでベスト4入りすることを目標に、一つ一つのパスやボールコントロールの質、数的優位をつくりだすポジショニング・ランニングの質など、国内での日常、当たり前を世界基準でとらえなおし、国際的な結果につなげていきたいと考えています。また、生涯スポーツとしての普及活動を国内に於いて積極的に行っていきます。選手たちのさらなる飛躍にご期待ください。

北海道の指導者へメッセージ

私自身、極々平凡な指導者ですが、選手にチャレンジすることを求めるのと同様に、自分自身も一步を踏み出すチャレンジをし続けたいと思います。道内各地をまわっている中で、いつも指導者仲間からパワーをもらっています。選手の成長のために、良い刺激をこちらからも発信できるよう頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

アンプティサッカー協会加盟チーム



北海道  アシルスフィオーダ北海道AFC (2013年設立)	埼玉県  FC 1TOP (2016年設立)
千葉県  AC Milan BBee千葉 (2014年設立、2020年名称変更)	東京都  FC ALVORADA (2013年設立)
神奈川県  TSA FC (2010年設立)	静岡県  ガネーシャ静岡AFC (2015年設立)
大阪府  関西Sete Estrelas (2012年設立)	広島県  A-pfeile広島AFC (2013年設立)
大分県  FC九州パイラオール (2011年設立)	兵庫県  INVITES兵庫AFC (2021年設立)
高知県  Bonitos Kochi (2021年設立)	

特定非営利活動法人日本アンプティサッカー協会ホームページ(<http://j-afa.jp/jafa-team>)より引用



2023年10月19日(木)
公益財団法人北海道サッカー協会

